PART2　めり・らし・まほし・たし・ごとし

めり・らし

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型	接続
めり	○	めり	めり	める	めれ	○	ラ変型	
らし	○	○	らし	らし	らし	○	無変化型	

【「めり」の意味】

①（「　　」判断による）推定（**〜ようだ**）　※語源＝「　　」＋あり

② 婉曲（**〜ような**）

【「らし」の意味】

① 推定（〜らしい）

問三　「言ふ<u>めれ</u>ば、…」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　完了　　イ　推定　　ウ　断定　　エ　伝聞　　オ　尊敬

まほし・たし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まほし	**まほしく**	まほしく	まほし	まほしき	まほしけれ	○	形容詞型
		まほしから	まほしかり	○	まほしかる	○	○	
形	たし	**たく**	たく	たし	たき	たけれ	○	形容詞型
		たから	たかり	○	たかる	○	○	

【意味】

①　希望（～たい）

ごとし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし	**ごとく**	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	形容詞型

【意味】

①　比況（～ようだ）

第9講　PART2　確認問題

①「中将などはすきぬべかるめり。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　適当　イ　伝聞　ウ　完了
エ　反実仮想　オ　推定　カ　打消

②「おのが行かまほしき所に往ぬ。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　推定　イ　婉曲　ウ　希望
エ　断定　オ　伝聞　カ　尊敬

③「思ひのごとくも、のたまふものかな。」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　推定の助動詞・連用形
イ　推定の助動詞・終止形
ウ　比況の助動詞・連用形
エ　比況の助動詞・終止形

④「水底の月の上より漕ぐ舟の棹にさはるは桂なるらし」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　桂であるにちがいない
イ　桂だということだ
ウ　桂であればよいのに
エ　桂であるはずがない

⑤「あのやうでこそありたけれ。」の傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞の終止形＋希望の助動詞の已然形
イ　動詞の終止形＋希望の助動詞の命令形
ウ　動詞の連用形＋希望の助動詞の已然形
エ　動詞の連用形＋希望の助動詞の命令形

第９講　ＰＡＲＴ２　解答

問三　イ

第9講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

①「めり」は推定の助動詞。よって、オが正解。

②「まほしき」は、希望の助動詞「まほし」の連体形。よって、ウが正解。

③「ごとく」は、比況の助動詞「ごとし」の連用形。よって、ウが正解。

④「らし」は推定の助動詞。「桂であるにちがいない」という意味になる。よって、アが正解。

⑤「ありたけれ」は、動詞「あり」の連用形に、希望の助動詞「たし」の已然形がついたもの。「たし」は上に「こそ」があるため、係り結びで已然形になっている。よって、ウが正解。

〔解答〕

①オ　②ウ　③ウ　④ア　⑤ウ